

民間給与実態統計調査の見直しに関する当面の課題

民間給与実態統計調査については、「表章項目」、「復元推計手法」及び「調査項目」の観点から、取り組むべき課題を整理した。

今回、「復元推計手法」について、これまで検討した対応方法に基づき、以下の作業を実施し、その内容を検討する。

1 試算の実施

実際のデータ（過去の調査結果）を使用した上で、複数年分の試算を行い、試算結果がどのような傾向を示すか確認する。

また、実施した具体的な計算方法等の内容を確認し、必要に応じてその見直しも検討する。

(課題)・母集団名簿の整備

- ・階層が異なることとなった事業者への対応
- ・無回答の処理方法による過大復元の是正
- ・従来 of 統計作成手法の見直し

2 標準誤差率の算出

「復元推計手法」の見直しについては、上記1のとおり、実際のデータを使用した複数年分の試算を行うほか、当該試算結果を標準誤差率で評価し、その是非を判断することが重要である。

そのため、標準誤差率の算出に当たって、リサンプリング法などを使用した具体的な算出方法を検討する。